

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・ビジターセンター  
し ぜ ん き ょ う い く え ん

# 自然教育園だより

Vol.2 No.1

(2009年春号)

2009年3月10日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

## 自然教育園ギャラリー



### ◆自然教育園での出来事 (2008年12-2009年2月)◆

#### － 天神島臨海自然教育園 －

- 12月4日 ヒヨドリがシロダモの実を、メジロがハゼノキの実をそれぞれついばんでいた。
- 12月6日 カツオノエボシとカツオノカンムリ、キタマクラが打ちあった。エノキの葉が黄色くなった。
- 12月11日 カワラヒワが地上で種子を食べていた。ハバノリ、カヤモノリがではじめた。
- 12月14日 タイトゴメ (A) とハマボッスの葉が赤くなった。
- 12月18日 ハラビロカマキリの卵のうがあった。
- 12月19日 キタテハをみかけた。
- 12月23日 ウラシマソウの実が真っ赤に色づいていた。ツルオオバマサキの実が赤く熟していた。
- 12月25日 ヤブツバキが開花した。
- 12月28日 ヒゲスゲの穂がでていた。
- 1月11日 コクガンが海上でアマモを採食していた。ミサゴが海上の杭に止まって魚を食べていた。
- 1月17日 笠島にカワウが122羽、ウミウが6羽いた。メジロの小群がトベラの実を食べていた。オオキンカメムシがヒメユズリハにとまっていた。
- 1月24日 ヒヨドリがヤブツバキの花を吸蜜していた。
- 1月25日 ハマカンゾウが新葉をだしていた。
- 1月30日 マガモ1羽がカルガモと一緒に泳いだ。
- 2月5日 シロハラが樹林内で探餌していた。
- 2月7日 ウミウが10羽休んでいた。うちの1羽には生殖羽が見られた。
- 2月8日 ウミアイサ3羽を見た。
- 2月12日 ウミユスリカの1種が磯を飛んでいた。
- 2月13日 1900羽を超えるカモメ類が笠島周辺に飛来した (B)。多くはウミネコで、120羽以上のカモメ、多数のミツユビカモメ、少数のシロカモメとセグロカモメなどもいた。ハヤブサ1羽も笠島にいた。
- 2月14日 昨日の春一番で海が荒れ、海藻が打ちあがっ

ていた。成虫越冬のキタテハ (C) が飛んでいた。

- 2月19日 ジョウビタキを確認した。ミサゴが沖の杭にとまっていた。

#### － 馬堀自然教育園 －

- 12月2日 マンリョウの実が赤くなった。
- 12月7日 テイカズラの種子が数多く落ちていた。熟したトベラの実の中に赤い種がみえた。
- 12月12日 センリョウの実が赤く色づいていた。
- 12月16日 メジロがカラスザンショウの実をついばんでいた。先月から声だけだったシロハラを見た。ムラサキシメジが6本生えていた。
- 12月19日 トウキョウサンショウウオが水路から少し離れた朽ち木の下で冬眠していた (D)。
- 12月21日 下の池付近でアカハラを見た。イヌビワが黄色く色づいた。
- 1月6日 下の池でアオジとシメ、ウグイスを見た。
- 1月18日 ヤブツバキが咲きだした。ヒヨドリがトベラの種子を食べていた。
- 1月22日 ウメ (E) が咲きだした。
- 1月23日 上の池にトウキョウサンショウウオの卵のうが2個あった。上の池でジョウビタキのオスを見た。
- 1月29日 フウトウカズラの実が赤く色づいていた。ニホンミツバチが巣の中で寄り集まっていた。
- 2月1日 クサカゲロウの1種の成虫が越冬していた。
- 2月3日 モズが下の広場にいた。エナガ、メジロ、シジュウカラの混群が移動していた。気温が上がるとニホンミツバチが巣から盛んに入出入りしていた。
- 2月7日 ヒメウズの花が咲き始めた。アオキの実が赤く色づき、花芽がほころび始めていた。
- 2月12日 ウメの花が満開。アカハラを見た。エノキの枝にハラビロカマキリの卵のうがあった。

◆この春の見どころ (3-5月)◆



夏羽のウミネコ成鳥(右)と若鳥(左)。



夏羽のオオセグロカモメ。

<今号は鳥の特集です>

3月から5月にかけては、海鳥の観察が面白い時期です。

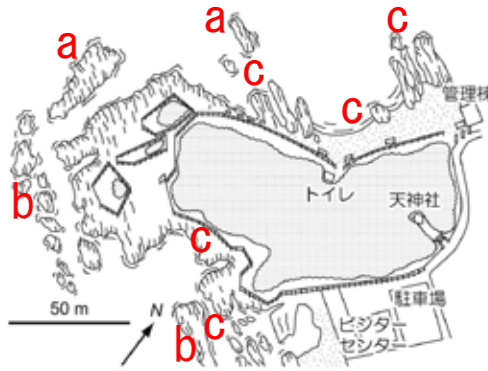
3月頃は、渡りを控えたカモメの仲間が美しい夏羽に衣替えをしま



旅鳥のキアシシギ。



旅鳥のキョウジョシギ。



観察マップ：

写真のa～cを図上に示しています。

天 神島臨海自然教育園



夏羽のウミウ。ゴートのポケットのような位置の白い羽根は成鳥の特徴。

す。また南風の吹くような日には、カモメやシロカモメのような普段はあまりみかけない種類のカモメ類が訪れます。ウミスズメ類なども沖合いの海上でみかけることもあります。4月から5月にかけて、南から北へ渡るキョウジョシギ、キアシシギ、チュウシャクシギなどシギの仲間が訪れます。また日本で繁殖するコチドリやコアジサシもこの時期によくみかけます。カモメ類は5月頃から少なくなりますが、かわって沖合いなどでオオミズナギドリの大群をみるようになります。



成虫になったカワトンボは水路の周辺で活発に餌をとります。



タチツボスミレ。三浦半島では最も普通のスミレです。

春を迎え、林内ではさまざまな芽吹きや開花のようすが見られるようになります。植物が大きく変化するこの時期は、園内を観察し

て歩くのにとっても良いタイミングです。また、さまざまな成長段階で冬を越した昆虫たちがその姿を次第に見せるようになります。

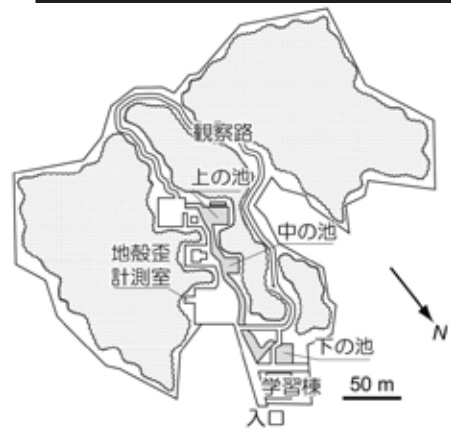


カラスノエンドウ。ヤハズエンドウともいい、ソラマメの仲間です。



イノデの仲間は丸まった新芽を伸ばしながら葉を広げます。

馬 堀 自然教育園



ウラシマソウ。大きく掌状に広がった葉と特徴的な花。

## ◆自然教育園ガイド◆ 「天神島でのビーチコーミング」

「ビーチコーミング」は、海岸に打ちあがったものを観察したり、集めたり、その由来を調べたりすることです。

天神島でもさまざまなものが打ちあがりますが、これらは人工的なものと自然に由来するものに分けることができます。天神島臨海自然教育園では、人工的なものはゴミやリサ

イクルにまわします。その量は年間約3トンにも達します。一方、自然のものはそのままにしておきます。なぜならば、自然のものは生態系の循環の中で他の生き物に再利用されて役に立つからです。

ビーチコーミングをすると、ふだんは気づかなかった生き物の存在を発見したり、私たちの生活を見つめ

直したりするきっかけになります。

また、いろいろなテーマを決めてコレクションをしたり、打ちあがった流木や貝殻、ガラスなどを材料に作品を作ったりする楽しみ方もあります。

天神島ビジターセンターでは、4月11日から「ビーチコーミングの楽しみ方」と題した展示を行います。どうぞご覧ください。(田中 記)



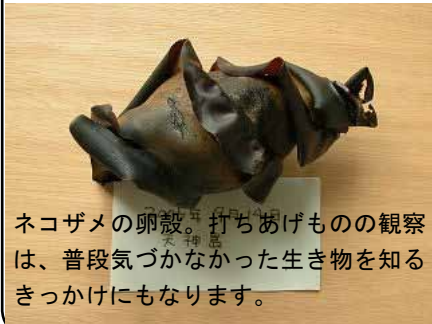
天神島ではカジメなどの海藻が大量に打ちあげられます。これらは海岸の小さな生き物たちの餌になります。



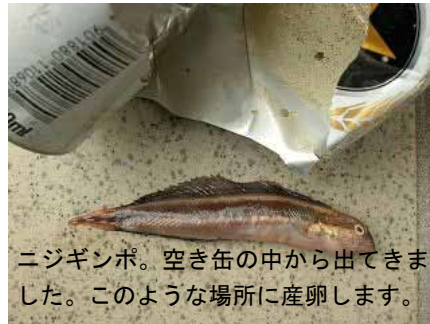
容器包装プラスチック類は洗ってリサイクルに回します。この大きさの袋で年間84袋にもなります。



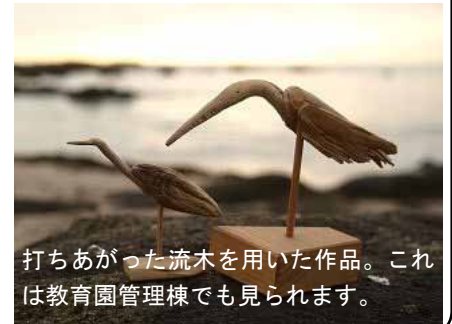
ゴバンシアン(南国)から植物の果実の漂着もあります。



ネコザメの卵殻(打ちあげもの)の観察は、普段気づかなかった生き物を知るきっかけにもなります。



ニギギンポ。空き缶の中から出てきました。このような場所に産卵します。



打ちあがった流木を用いた作品。これは教育園管理棟でも見られます。

## ◇博物館行事レポート◇

### 天神島めぐり「天神島の地層」

(2月15日・参加者7名)

快晴の天候の下、天神島めぐり「天神島の地層」が開催されました。まず、ビジターセンターで開催中の企画展示「天神島周辺の地質」を簡単に解説しました。続いて園内の砂浜に移動すると、2月13日の南風(春一番)の影響で、たくさんの海藻や動物が打ち上がっていました。マクサ、フクロツナギ、フサノリ、タマミル、ワカメなどの海藻や、トビエイやタツノオトシゴといった動物を観察しました。

天神島の地層(三浦層群三崎層)はおよそ500万年前に深海で堆積した火山礫や泥岩からできています。今回は火山豆石や火山礫、断層のほか、岩場に見られる甌穴(おうけつ)なども観察しました。

参加者の方々も興味深く打ち上げ物を観察し、様々な海藻や海の生き

### <天神島めぐり>

物を観察できることに驚いていたようでした。また、地層に含まれる鉱物について質問が出るなど、身近な地質について理解を深めていただくことができたと思います。

(柴田・田中 記)



「天神島の地層」

### 博物館教室「水辺の生物を育てよう」

(2月1日・参加者4名)

市民協働をともなった全4回の連続講座で、トウキョウサンショウウオやイモリ、ホタルなど教育園内に生息する水辺の生物の生息環境の保

全や保護・展示などを行なっています。今回は3回目になります。

トウキョウサンショウウオの産卵は1月末に始まったばかりで、確認されたのは2匹分4個の卵のう(らんのう=卵の入った袋)と、次の産卵を待つオスの成体2匹でした。参加者の中には初めて見る方もいて、1つの卵のうの中に約80粒もの卵を数えて驚いたようでした。産卵場に木の枝などの産卵基盤を入れる作業のほか、2個の卵のうを学習棟の展示水槽に収容して卵や幼生の発生と発育を観察できるようにしました。

(萩原 記)



「トウキョウサンショウウオと卵のう」

## ◆自然教育園イベント紹介◆

### — 博物館教室 —

#### 1. 水辺の生き物を育てよう

メダカ、トウキョウサンショウウオ、イモリなどの水辺の生き物たちが生息する環境の保全・再生活動を行います。2009年4/4、5/2、6/6、7/4、11/7、12/5、2010年2/6、3/6(各土)の全8回。10:00-12:00。馬堀自然教育園。対象は小学生以上10名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。締切:3/21(土)。

#### 2. 森と草原を育てよう

馬堀自然教育園の森林と天神島臨海自然教育園の海岸草原の保全を目的に、草刈りや枝落としなど適切な手入れを行います。2009年4/9、5/14、6/11、7/9、9/10、10/8、11/12、12/10、2010年2/11、3/11(各木)の全10回。9:30-12:00。馬堀自然教育園および天神島臨海自然教育園。対象は中学生以上10名。締切:3/26(木)。

#### 3. 植物の観察と分類A

植物のつくりの基本を、身近な植物を材料に観察します。また、三浦半島に見られる科を中心に植物の主な科や属の分類を紹介します。2009年4/10、5/8、6/12、7/10(各金)の全4回。10:00-12:00。馬堀自然教育園および天神島臨海自然教育園。対象は中学生以上20名。野外保険料各回50円。締切:4/3(金)。

#### 4. 昆虫教室

身近な昆虫の採集や観察の方法を楽しく勉強します。2009年5/24、6/7、7/5、7/26、9/6(各日)の全5回。10:00-15:00。馬堀自然教育園および観音崎自然公園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料各回50円。締切:5/10(日)。

### — 自然観察会 —

#### 1. 海藻入門講座(東京海洋大学藻類学研究室共同事業)

三浦半島の沿岸には多種多様な海藻が生育しています。ふだん目にする事の少ない海の植物に親しみませんか? 2009年4/12(日)10:00-15:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。保険料1人50円。締切:3/28(日)。

#### 2. ウミウシの観察会(『国際博物館の日』記念事業)

「海の宝石」といわれる貝のなかまウミウシ類を中心に、磯の生き物たちを観察します。2009年5/24(日)10:00-12:00。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料各回50円。締切:5/10(日)。

### — 天神島めぐり —

対象は小学生以上(小学生は保護者同伴のこと)。先着20名(事前申込不要)。野外保険料50円。

#### 1. 海岸植物—春—

ハマダイコンやハマエンドウなどの海岸植物やアマモ・タチアマモなどの海藻を観察します。2009年4/19(日)10:30~12:00。天神島ビジターセンター集合。

### — 天神島ミニ企画展示 —

天神島ビジターセンター1階の展示ケースにて展示。

#### 1. 天神島周辺の地質

天神島から長者ヶ崎の地質について、子産石を含む岩石資料や空中写真を交えながら紹介します。2009年3/29(日)まで。

#### 2. ビーチコーミングの楽しみ方

海で漂着物を観察することは、海の自然や人の関わりなどについて知るきっかけになります。天神島における漂着物や、漂着物の楽しみ方をご紹介します。2009年4/11(土)~2010年3/28(日)。

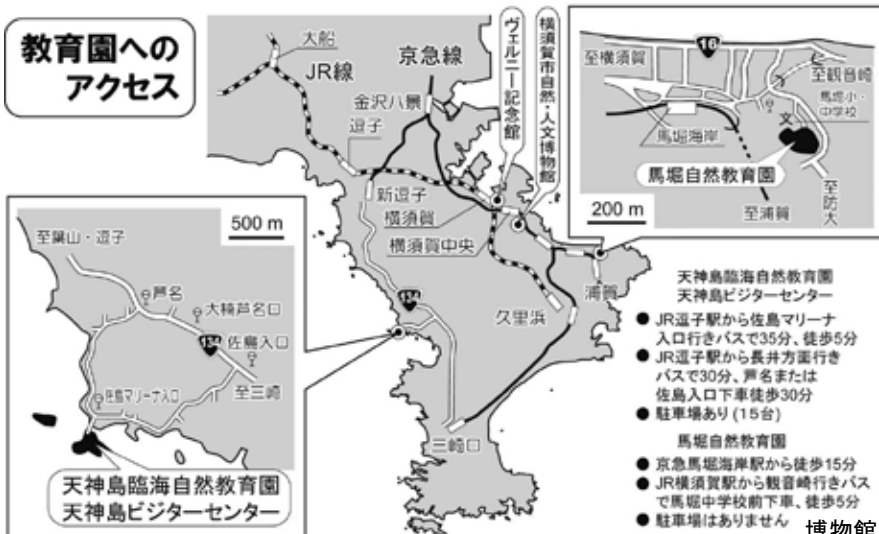
### 博物館フォーラム「馬堀自然教育園の魅力」

馬堀自然教育園は1959年に開園して以来、三浦半島の様々な動植物についての保全・教育施設として発

展してきました。同園の開園50周年を記念し、隣接した馬堀中学校の協力のもとフォーラムを開催します。2009年3/28(土)13:00-14:00。横須賀市立馬堀中学校体育館。

## ◆横須賀市自然・人文博物館 付属自然教育園◆

### 教育園へのアクセス



### 馬堀自然教育園

〒239-0802  
横須賀市馬堀町4-10-3  
TEL 046-841-5727

### 天神島臨海自然教育園 (ビジターセンター)

〒240-0103  
横須賀市佐島3-7-3  
TEL 046-856-0717

### 博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台95  
TEL 046-824-3688  
FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始  
開館・開園時間 9:00-17:00  
(自然教育園 10~3月は16:30まで)

博物館ホームページ

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>

## ◆自然教育園をご利用の際の注意◆

- ①動植物の採集はできません。
- ②ペットを連れての入園・レジャー用品の持ち込みはご遠慮ください。